

言語の障害(DYSLEXIA)への具体的な介入

NPO法人子どもの発達・学習を支援するリハビリテーション研究所

高橋 昭彦

読むための前段階となる課題

道具

長さの認知	長さの異なるスティック	言語⇄体性感覚⇄視覚
大小の認知	大きさの異なるパネル	言語⇄体性感覚⇄視覚
位置の認知	▲■●パネル	言語⇄体性感覚⇄視覚
位置の認知2	25マスと人形(物体中心)	言語⇄視覚
傾きの認知	スティック	言語⇄体性感覚⇄視覚
エッジの認知	色の異なるスティック	言語⇄体性感覚⇄視覚
形態の認知	▲■●パネル	言語⇄体性感覚⇄視覚

(3歳)～6歳 (幼児期)

(音韻操作)

①復唱と逆唱	言語(音)⇄言語(音)
②先頭と末尾の文字探索	言語(音)⇄言語(音)
③文字数カウント	言語(音)⇄言語(意味)
④聞いた音を50音表から探す	言語(音)⇄視覚
⑤50音表穴埋め	視覚⇄視覚/言語(音)
(視覚的情報処理)	
⑥50音表と平仮名ブロックのマッチング	視覚⇄視覚
⑦単語間違い探し「まっこうくら」	視覚⇄意味
⑧平仮名(カタカナ)の丸みの有無	視覚⇄意味

6歳～ (就学期)

(視覚的情報処理と意味理解)

⑨平仮名ブロック並べ替え	視覚⇄意味
⑩有意味・無意味から意味語探索	視覚⇄意味
⑪単語穴埋め	視覚⇄意味
⑫ブロックを使ったしりとり	視覚⇄意味

(書き障害に対する介入)

⑬他動運動における文字想起	体性⇄視覚
⑭画数カウント	視覚⇄体性
⑮スティックを使った字の構成	視覚⇄視覚
⑯粘土を使った字の構成	視覚⇄視覚/体性